

26自治体の首長が広域自治体連携に向けた共同宣言を深化すべく「取組方針」を共有

主催：国土交通省関東地方整備局

第4回開催状況

- 大規模災害に備え平時から都市と地方の連携を深めていくことを目的として、第4回広域自治体連携ミーティングを開催。
- 関係する26自治体のうち25自治体（うち首長出席20自治体）が出席、「地域間における広域連携の強化に向けた共同宣言」に対する取組方針を共有し、共同宣言の実効性を高めるべく意見交換を実施
 - 開催日時：令和8年1月13日（火）15:30～ 【於：東京都北区 北とぴあ】
 - 出席者：群馬県【沼田市長、中之条町長、長野原町長、嬭恋村副村長、高山村長、東吾妻町長、片品村長、川場村長、昭和村長、みなかみ町長】
埼玉県【川口市副市長、秩父市長、戸田市危機管理監、横瀬町長、皆野町長、長瀬町長、小鹿野町長、東秩父村長】
東京都【墨田区長、江東区危機管理室長、北区長、板橋区長、足立区副区長、葛飾区長、江戸川区長】
関東地方整備局【局長、河川部長、荒川下流河川事務所長、利根川ダム統合管理事務所長、二瀬ダム管理所長】
 - 挨拶、事前説明：関東地方整備局長、河川部長
 - 取組方針の共有、全体ミーティング（意見交換） ◆ 傍聴：建設工業新聞、建設通信新聞、建通新聞、東都よみうり新聞、日本経済新聞（5社）
- 【結果】取組方針を共有し、連携自治体間における流域全体での災害協定締結や広域避難を想定した共同訓練の実施に向けて具体的に取組んでいくことを確認した。併せて、平時の連携も含め、引き続き国が伴走支援していくことを確認した。

■開催状況

■挨拶、ご発言 関東地方整備局 橋本局長

「平時からの交流が重要と改めて認識。それが災害時の連携にもつながる。」

国として、平時の交流、災害時の協定など、本取組がレベルアップできるよう、引き続き、伴走支援していく。」

■全体ミーティング 主な意見

- 様々な課題を解決するために流域連携が大変重要。日頃の交流から災害時に助け合う関係に結び付けたい。（秩父市長、葛飾区長）
- 本ミーティングを受け、連携自治体を対象とした広域避難時の被災者移送にかかる協定をバス事業者と結んだ。 今後は被災者の移送訓練等を検討していければと考える。（沼田市長）
- 流域全体（連携自治体間）での協定が必要。そこから平時の交流にもつながる。（墨田区長、江戸川区長）
- 引き続き、国土交通省の支援をいただきたい。（江戸川区長）

秩父市長

沼田市長

葛飾区長

江戸川区長